

平成 17 年 4 月 25 日

2 号機気水分離器等貯蔵プールの漏えい検知配管の監視について

2 号機は平成 17 年 4 月 18 日より定期検査中ですが、4 月 22 日および 25 日に気水分離器等貯蔵プール^{*1}からの漏えいの有無を確認する配管のレベル計^{*2}内に溜まった水を分析したところ、微量の放射性物質(コバルト 60 等)が検出されました。

今後、レベル計の確認頻度を 1 日 1 回から 1 日 3 回に増やすとともに、溜まった水についても継続的に分析を行ってまいります。

なお、溜まった水は放射能分析を行った後、液体廃棄物処理系で処理しております。

また、これによる外部への放射能の影響はありません。

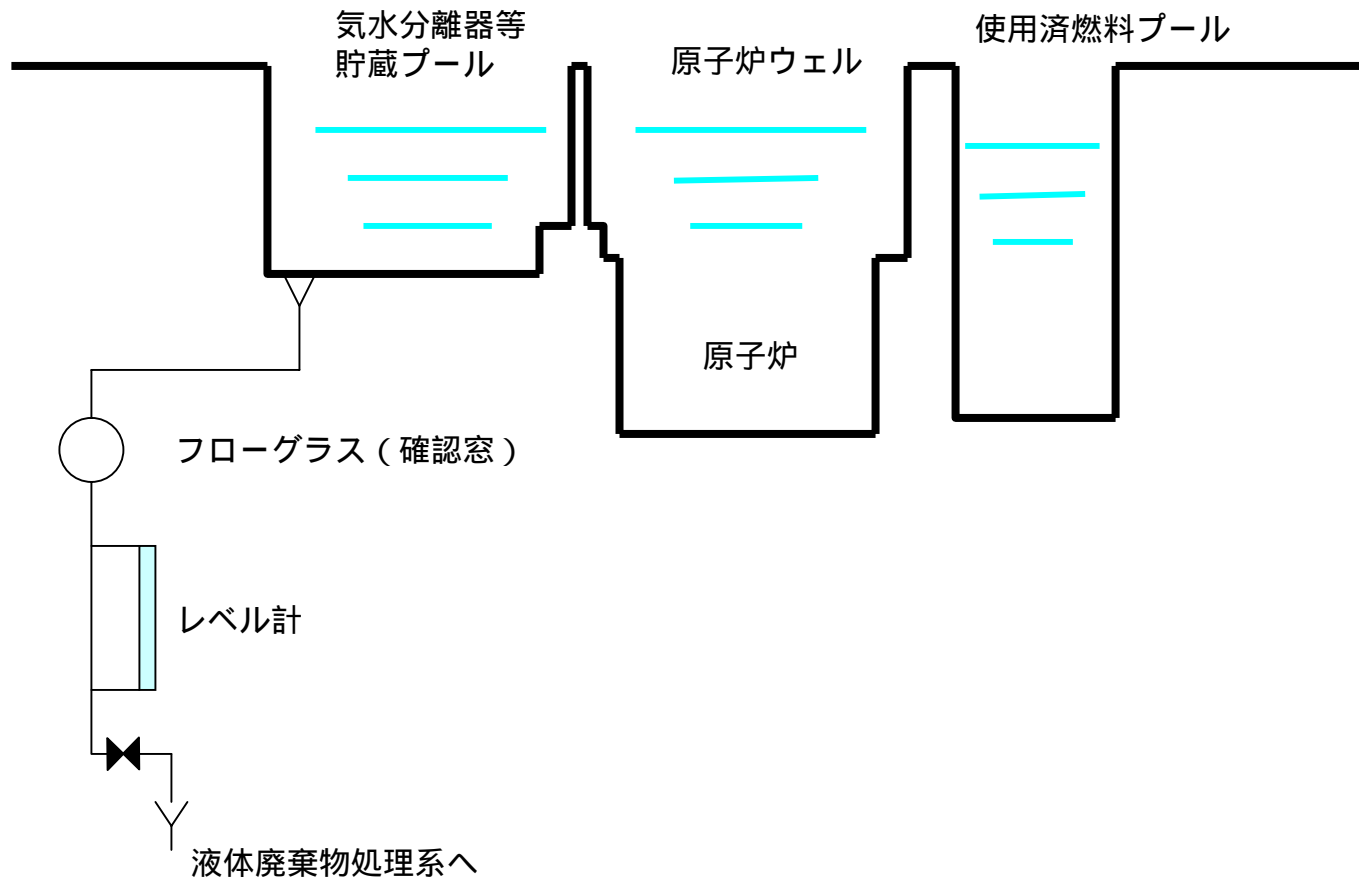
以 上

* 1 気水分離器等貯蔵プール

定期検査時に燃料を取り替える際等に、プールに水を張り、原子炉圧力容器内燃料上部にある蒸気乾燥器、気水分離器を取り出し、保管している。

* 2 レベル計

気水分離器等貯蔵プールにはステンレスによる内張りがされており、内張りからの漏えいを検知するため、内張りの外側に溝を設置し、溝からの流れをレベル計にて確認できるようになっており、内張りと溝の間に発生する結露水についても同レベル計に溜まる。



2号機気水分離器等貯蔵プール漏えい検知配管の概要図